

Bulletin

全国ケーブルトラフ協会

会報

2007年第15号

Contents

P1	年頭御挨拶
P2	セメント商工健康保険組 合加入のおすすめ
P3	会員information
P4	詩

年頭御挨拶

特定非営利活動法人 全国ケーブルトラフ協会
理事長 田所 龍雄

会員、賛助会員の皆様 新年明けましておめでとうございます。

全国ケーブルトラフ協会運営に、ご理解ご協力、誠にありがとうございます。

昨年度は、海外経済の勢いから、原油価格、鉄鋼価格の高騰に耐え忍んだ中小企業が多かったのではないかと推測します。時代の流れが大きく変動している今、利益優先世論から、ひとりの人間としてのありかたが、問われているのではないのでしょうか。小規模な団体であっても、今こそ強固な連携が望まれています。

全国ケーブルトラフ協会では、今年も引き続き、総会発表の方針に沿って諸事業を実施し、製品の高度化及び品質の向上に役立て、多様化する情報提供と顧客ユーザーのニーズにあった技術の習得に努力を重ねていきます。

■ 基本方針

1. 企業体力を維持するための技術確保
2. 経済環境に対応する諸問題の調査
3. 収益事業を通じた、会員組織の強化及び協調の確立

さらに、パソコンを使ったサービスの拡充を図っております。

ホームページアドレスは <http://www.npojcta.or.jp>

メールアドレスは [E-mail:cabletragh@npojcta.or.jp](mailto: cabletragh@npojcta.or.jp)

是非アクセスして情報共有していただきたく思います。

本年度も全国ケーブルトラフ協会運営に、引き続きご理解ご協力、宜しく願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



セメント商工健康保険組合加入のおすすめ

政管健保よりもメリットの大きな健康保険組合で明るい職場と健やかな家庭を！

●政管と組合健保（セメント商工健康保険組合）

健康保険には、国が運営している政府管掌健康保険（社会保険事務所）と、企業単位又は業界単位に小集団のメリットを生かした自主的な運営をしている組合管掌健康保険とがあります。

当健康保険組合は、セメント業界並びにこれに関連する企業に勤務する皆さんやその家族の一層の福利厚生充実と、加入事業所の発展を目的として設立され、今では適用地域を全国にまで拡大した当業界唯一の総合健康保険組合です。

●政管から組合へ移ることができます

現在、政府管掌健康保険（社会保険事務所）に加入中の事業所であればいつでも当健康保険組合へ移ることができます。そこで当健康保険組合へ移られれば、政管（社会保険事務所）で加入していたときよりも、①保険料負担が少し軽くなります。（一般保険料率1/1000 介護保険料率で0.5/1000 計1.5/1000 軽減） ②法定給付に付加給付がプラスされます。（患者窓口負担で30,000円を超えた場合は、その超えた部分を付加給付としてプラス。政管は法定給付のみ） ③健康診断や、保養所・レジャー施設等の利用補助、更には、ウォーキング大会や野球大会、潮干狩大会等の健康づくりを目的としたイベント行事等も行っております。（本来、事業主が行うべき事業をも肩代わりさせていただいております。政管の実施内容と比較してください。）

●制度改正でどうなるのか

今回の医療制度の改正により、当健康保険組合加入のメリットが強まり、又、先行きさらに強まる見込です。特に政府管掌健康保険も平成20年10月には公法人化されることとなりました。従いまして公法人ということになりますと、当健康保険組合も同じ公法人ですので結果的に健康保険組合間の異動ということで、当健康保険組合への加入が難しくなる可能性もあります。

このようなことから、是非この機会に当健康保険組合への加入につきご検討を賜りますようお願い申し上げます。

●加入するには

まず、健康保険組合編入（適用）希望申込書を提出していただくこととなりますが、詳しくは下記までご連絡ください。

なお、不明な点、資料の請求等につきましても同様です。又、場合によりましてはご説明にも伺わせて戴きます。

いずれにしましても、当健康保険組合への加入は、厚生労働大臣の認可を受けて政府管掌健康保険（社会保険事務所）から組合管掌（セメント商工健康保険組合）へ移管（事務引継）をするだけのことです。

【連絡・問い合わせ先】

- ・セメント商工健康保険組合 業務第一課
- ・〒150-8407 東京都渋谷区東2-10-8
- ・電話 03-3409-7918
- ・<http://www.sementokenpo.jp>

会員 information

●朝日工業株式会社様からの新JIS移行完了のご報告

会員の皆様、冬の厳しさが本番の中、風邪など引かずお元気でしょうか！

朝日工業株式会社、新貝で御座います。さて今回は、当社、新JIS移行について、ご報告いたします。

平成18年5月1日より、新JIS移行認証の準備を開始し、申請書作成、社内規格整備、新JISに対応する準備期間を経て、平成18年10月10日に、申請書を日本建築総合試験所に提出を致しました。

ここで認証機関を選定した理由について、少し説明したいと思います。

数社ある認証機関の中で何故、日本建築総合試験所に決定したかと言うと、まず新JIS移行認証準備開始時、社内規格委員会を召集し、当社の条件、内容、審査方法がもっとも良い認証機関に選定しようと決定しました。そこで当社、品質管理顧問に相談し、当社に一番適している認証機関は、日本建築総合試験所となり決定致しました。

本題に戻ります、申請書を提出後、数日後すぐに第一回申請書、社内規格修正案がきました。すべて修正し数日後再提出をしました。なんとか第一回の修正案で無事書類審査が完了し、次の初回工場審査となりなした。審査日は、平成18年12月5日決定しました。

審査当日は、スケジュール通り順調に審査は進み審査基準をほぼクリアしました。審査官には大変分かりやすく親切でとても良い審査をしていただきました。

初回製品検査は、日本建築総合試験所の試験センターへ依頼をいたしました。審査官が、ランダムに製品を2組（本体、ふた）封印し指定された試験センターへ後日郵送依頼となり試験結果が来るまで、待機になります。約2週間くらい後、検査報告書が届きました。

検査報告書が届く間は、申請書、社内規格の多少修正がありました。

検査報告書が届きすぐ審査官へ検査報告書を郵送し認証判定会議にかけて、いただきました。それから約2週間後郵送にて、認証合格通知が届きました。

新JIS移行が完了し現在は、ほっとした所であります。これからもJIS維持に向け、品質向上、より良い製品を作る為、努力していきたいと思っております。

これで、新JIS移行のご報告を終わらせていただきます。



向かって左が新貝・右が我妻です



早春賦

吉丸 一昌 作詞
中田 章 作曲

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| 1. 春は名のみ 風の寒さや
時にあらずと 声も立てず | 谷の鶯 歌は思えど
時にあらずと 声も立てず |
| 2. 氷解け去り 葦は角ぐむ
今日も昨日も 雪の空 | さては時ぞと 思うあやにく
今日も昨日も 雪の空 |
| 3. 春と聞かねば 知らでありしを
如何にせよとのこの頃か | 知れば急かるる胸の思いを
如何にせよとのこの頃か |

大正2年



【解説】 この唄も毎年唄う。些か、焦燥感を持って唄う。申告や年度末を気にして、毎年を過ごして来た。寒さが苦手、陽気が良くなるのを待つ期待感もあるが、思うに任せぬ勉強や仕事に対する焦りが常にあったからだろう。

この会報がお手元へ届く頃はまだまだ厳寒の頃、しかも年度末へ向けてコンクリート屋にとっては最も忙しい時期になる。ここでの稼ぎが年商や収益を左右する。

自然でも経済社会でも正念場である。毎年この時期を乗り越えて春を迎え、次へと繋いでゆく。3番の歌詞が心に沁みる。

焦ってもしかたがない。「照顧脚下」、正念場こそ、その時その場をしっかりと見据え着実な歩みを進める。「大道無門、千差有道」、たとえ失敗があったとしても、道は自ずから開ける。

どんなピンチに陥ろうとも、進むべき道はいくらでもある。

そして、春は必ず来るのである。